



# 柏原中だより

令和5年3月卒業記念号 狭山市立柏原中学校

〒350-1335 狭山市柏原2520-11 TEL04-2954-5073 生徒数 254名

<学校教育目標> 今を精いっぱい生きる・凡事徹底 ○希望を持って進む生徒

## 3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

令和4年度 卒業生の埼玉県特別表彰等 (敬称略) 3月10日(金)

(1) 令和4年度 埼玉県教育委員会 児童・生徒表彰

3年1組

(2) 令和4年度 体育優良児童・生徒表彰

3年2組、3年1組

(3) 令和4年度 埼玉県産業教育振興会小・中学校優良卒業生表彰

3年2組



### 大成功！素晴らしかった三年生を送る会 <3月9日>

三年生を送る会が、3月9日(木)の5、6校時に開催されました。在校生の三送会実行委員(委員長: さん)、生徒会本部役員、壁面装飾を始め、10セクションの組織に分かれて、それぞれが、しっかりと計画どおり役割を遂行してくれました。昨年度は、在校生はリモートでの参加でしたが、今年度は全校生徒が体育館に入って、直接、感謝の気持ちを伝えました。1年生の発表は、光沢のボンボンを持つてのマツケンサンバ、ダンス「カンナムスタイル」、歌「群青」、部活動ごとのメッセージ、3年生の周りをぐるっと囲んでのダンス。2年生の発表は、テレビニュース形式で、CMの寸劇、ダンス「ジャンボリーミッキー」、歌「友よ」にのせた呼びかけ。どちらの学年の発表もとてもよく工夫され、温かく、楽しい内容で、素晴らしいものでした。その後、ステージ背面に設置された、卒業生が未来へのドアを開け、未来に歩いていく姿を描いた さん原画のビッグアート披露。吹奏楽部の発表は「ブルースプリング」と柏原中吹奏楽部にはなくてはならない「リメンバー・ミー」。吹奏楽の生の演奏は迫力があり、とても素晴らしいものでした。思い出のスライドは、1年生からのとても懐かしい写真から、3年生で頼もしく下級生をリードする写真など、絶えず歓声上がるような構成でとても楽しいものでした。3年生の発表は、歌「正解」と後輩に向けた呼びかけ。歌う3年生も、聴く1・2年生もその歌詞を噛み締めました。最後のフィナーレは、3年生の生徒会長の さんと現生徒会長の さんによってくす玉が割られ、たくさんの紙吹雪や風船とともに「今までありがとう」の垂れ幕が現れました。

1・2年生の3年生への感謝の気持ちがとてもよく伝えられたと思います。それと同時に、この行事を通して、1・2年生は、これから柏原中を背負っていくという覚悟が感じられました。これだけの三送会を作り上げたという自信を次の学年につなげてもらいたいと思います。そして、3年生も安心して、1・2年生に柏原中を任せて、卒業できると思います。感動的で、とても素晴らしい三年生を送る会でした。こんな素晴らしい三年生を送る会ができる柏原中がとても誇らしく思いました。生徒の皆さん、先生方、本当にありがとうございました。

三送会スローガン：「BRAVO～未来へ輝く先輩へ感謝の気持ちを～」



壁面装飾 (左)



(ステージ左)



(ステージ右)



(右)

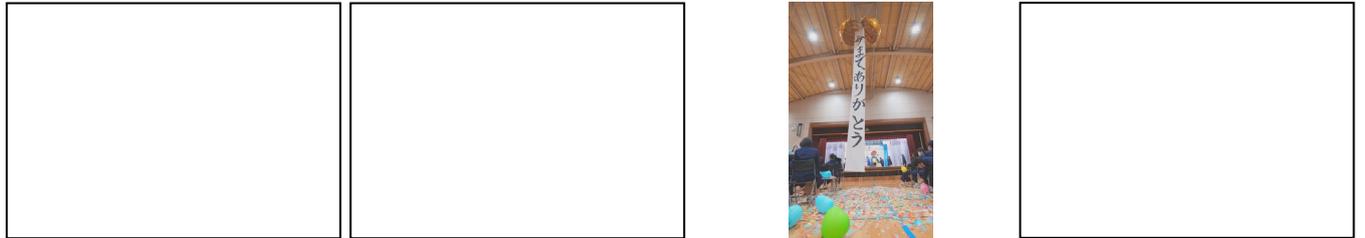


1年生発表

2年生発表

ビッグアート

吹奏楽部発表



3年生発表

くす玉大成功

「今までありがとう」

実行委員

※この他「思い出のスライド」がありました。

## 令和5年3月15日(水) 第41回卒業証書授与式 校長の式辞を掲載します

※ 縦書きの書式だったため、数字が漢数字になっています。  
式辞

新しい息吹が満ちあふれる春の季節を迎えようとしています。

本日は、ご多用の中、狭山市教育委員会入間川学校給食センター所長 様、狭山市議会議員 様、本校PTA会長 様、学校運営協議委員の皆様のご臨席のもと、第41回卒業式が挙行できますことに、心より感謝と御礼を申し上げます。

七十四名の卒業生の皆さん、ご卒業、おめでとうございます。

皆さんは、小学校の卒業式、中学校の入学式、そして中学校3年間も新型コロナウイルスの影響を受けた学年ではありましたが、その中で、たくましく素晴らしい足跡を残してくれました。タブレットを活用した修学旅行、友だちと友情を育んだ部活動、ゼロから作り上げた体育祭、市民会館大ホールに歌声を響かせた音楽会、SDGsをテーマにしたかしわっ子祭りなど、学校を良い方向へと導いてくれました。本当に素晴らしい三年生でした。本当にありがとうございました。

私から一つ言葉を贈ります。

「自分はいつでも主人公」という言葉です。人は生きていく上で、楽しいことがあったり、くやしいことがあったりします。それらが混ざり合って人生をつくっていくことになりますが、それはひとつのドラマです。このドラマの中では、「主人公は自分しかいません」誰も代役はいないのです。一見つまらなそうな場面さえ、このドラマの主人公は自分であって、活躍している他人ではありません。そして、そのドラマの筋書きは自分で決めることができます。夢や希望を持ち、心の中になりたい自分を思い描きながら前に進んでいってください。そうなるように努力を続けてください。その努力こそが、皆さんが柏原中学校で三年間目指した学校教育目標「今を精いっぱい生きる」であるとも思います。これからの人生においても、どんな場面であっても皆さんは、自分のドラマの主人公です。その時々「今」を一生懸命に、精いっぱい生きてください。そうしていくことで素晴らしい未来が開けていくと思います。応援しています。

結びに、保護者の皆様、お子様のご卒業、誠にありがとうございます。今日まで、慈しみ育まれ、愛情を注がれてきたご家族の皆様にとって、本日のお子様の晴れ姿を見ることは、計り知れない喜びだろうと拝察いたします。保護者の皆様の長い間のご労苦に敬意を表するとともに、お子様の成長をあらためてお祝い申し上げます。加えて、三年間、本校の教育の充実と発展のため、様々な面でご理解とご支援を賜りましたことに厚く御礼を申し上げます。

また、公私共ご多用の中、ご臨席を賜りましたご来賓の皆様に御礼を申し上げます。

卒業生の皆さんのそれぞれの進路でのさらなるご活躍をお祈りするとともに、洋々たる前途をお祝いして、式辞といたします。

令和五年三月十五日

狭山市立柏原中学校校長 稲葉 正